

<スイートインストーラーでMSIとパッチをまとめて配布する>

注) このドキュメントは、*InstallShield 2015 Premier Edition* を基に作成しています。*InstallShield 2015* 以外のバージョンでは設定名などが異なる場合があります。

概要

スイート/ アドバンスド UI プロジェクトで、MSI パッケージとパッチをまとめて配布する方法について紹介します。

スイートインストーラーでのパッチの配信には、いくつかの注意点があります。

- .msp パッケージは、そのターゲットとなる .msi が存在してはならないため、ターゲットシステムでアップグレードする製品の存在有無をチェックする必要がある
- スイートインストーラーでは、パッチ (.msp) のアンインストールはサポートされていない。 .msp を削除するには、ベースの .msi パッケージを削除する必要がある

このドキュメントでは、基本的なスイートプロジェクトの作成方法について紹介します。今回は、TestAppProduct (テストアプリケーション) の以下のバージョンを同時にインストールする設定を行います。

- TestAppProduct Ver.1.00.0000 …MSI 形式インストーラー (フルメディア)
- TestAppProduct Ver.1.10.0000 …MSP 形式インストーラー (パッチ)

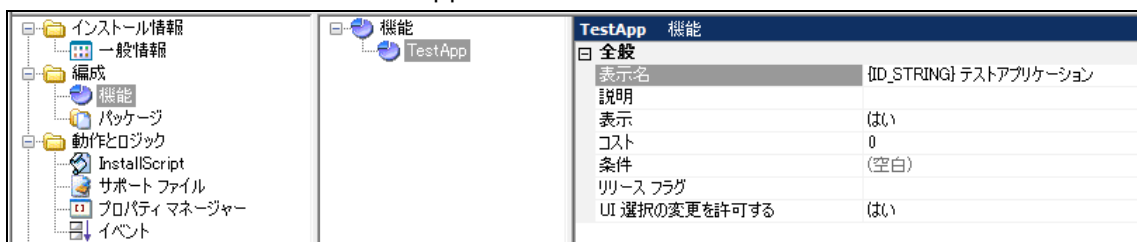
A. スイートプロジェクトの作成と機能の追加

1. [ファイル] - [新規作成] を選択し、[共通] タブにて「スイート/アドバンスド UI プロジェクト」を選択して、新規プロジェクトを作成します。プロジェクト名は「TestAppMSIandPatch」として保存します
2. [インストール情報] - [一般情報] の [全般] タブで基本的な設定を行い、「[プログラムの追加と削除] エントリの表示」を [いいえ] に設定します



パッチパッケージを含んでいる場合、スイートインストーラーの [変更] [修復] は動作しないため、スイートインストーラーの製品エントリは作成しないようにします。

3. 機能を作成し、機能の内部名は「TestApp」、[表示名] は「テストアプリケーション」とします

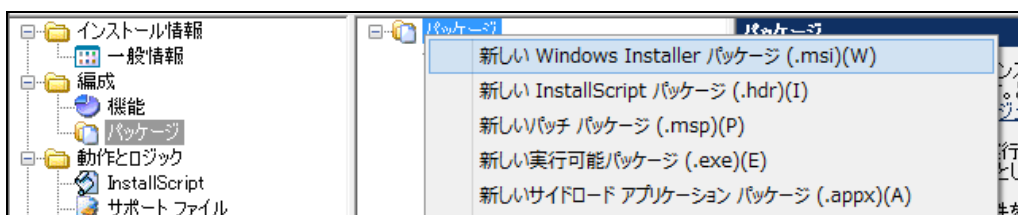


B. MSI パッケージの追加

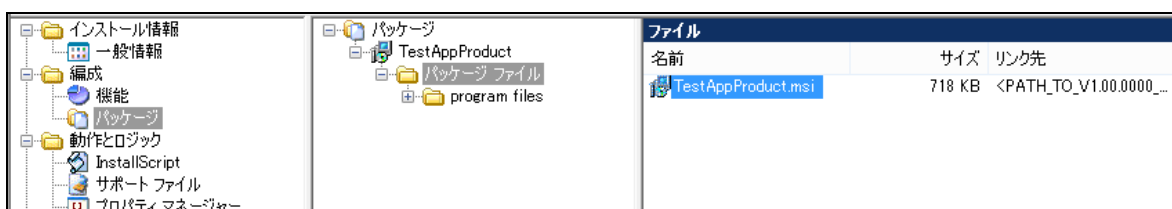
スイート/アドバンスト UI プロジェクトに製品パッケージ (.msi) を追加します。

追加する.msi は TestAppProduct の Ver. 1.00.0000 の.msi パッケージです。

4. [編成] - [パッケージ] ビューを選択します。[パッケージ] を右クリックして [新しい Windows Installer パッケージ (.msi)] を選択し、TestAppProduct の.msi ファイルを指定します



[このパッケージのファイルを追加する] ダイアログで、適切なオプションを選択します

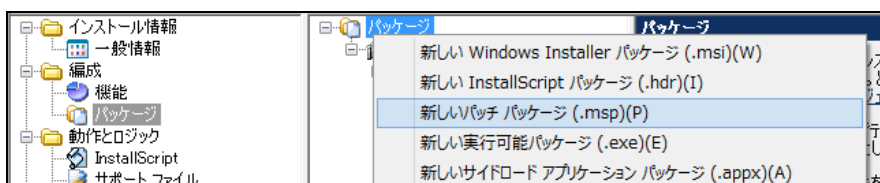


C. MSP パッケージの追加

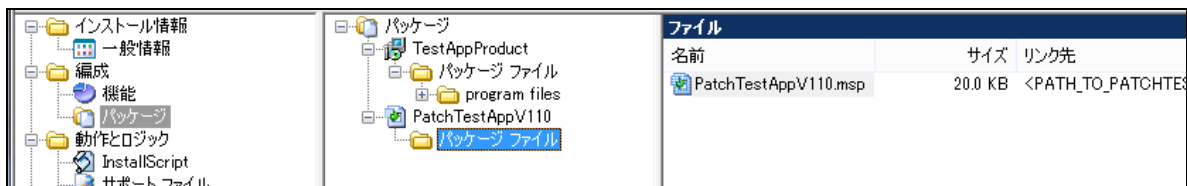
続いて、.msp パッケージを追加します。

追加する.msi は TestAppProduct の Ver. 1.1.0.0 の.msp パッケージです。

5. [パッケージ] を右クリックして [新しいパッチパッケージ (.msp)] を選択し、TestAppProduct の Ver 1.10.0000 の.msp ファイルを指定します



【このパッケージのファイルを追加する】ダイアログでは、【何も追加しない】オプションを選択します

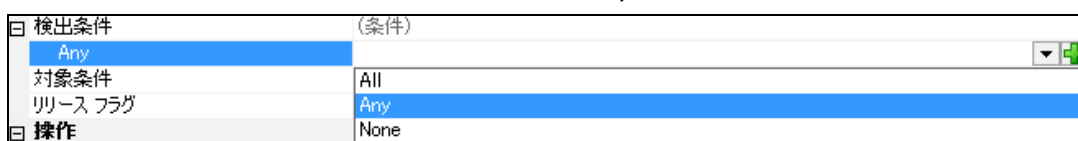


6. 【共通】タブ - 【操作】の【インストール】を展開し、【MSP コマンドライン】で、以下のコマンドラインを入力します
MSP コマンドライン： REINSTALLMODE=omus REINSTALL=ALL

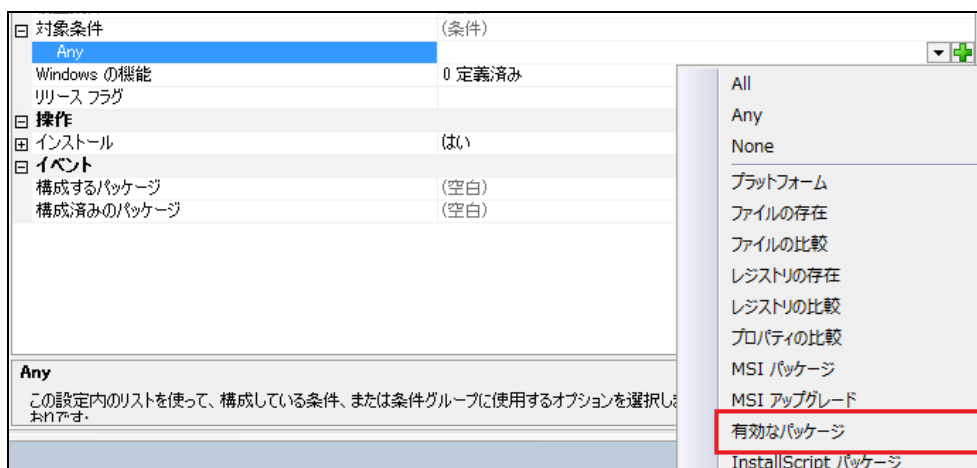


7. .msp パッケージは、パッチを適用するターゲットとなる .msi が存在していなくてはならないため、ターゲットにアップデートする製品が存在するかチェックを行う必要があります

追加したパッチパッケージの【共通】タブで【対象条件】を追加します。【対象条件】の右側 ボタンをクリックして、条件グループが追加されたら、【条件グループ】に「Any」を指定します



8. 条件グループの右側 ボタンをクリックして、【条件チェックの種類】で【有効なパッケージ】を選択します



9. 追加された【パッケージ GUID】の設定で、プルダウンから MSI パッケージ (TestAppProduct) を選択します



自動的に、TestAppProduct の製品 GUID が追加されます

対象条件	(条件)
Any	
有効なパッケージ	Id {9400A1A6-64EA-4A6E-BCD4-E5E9650FC565}
パッケージ GUID	TestAppProduct

D. ユーザーインターフェイスの編集

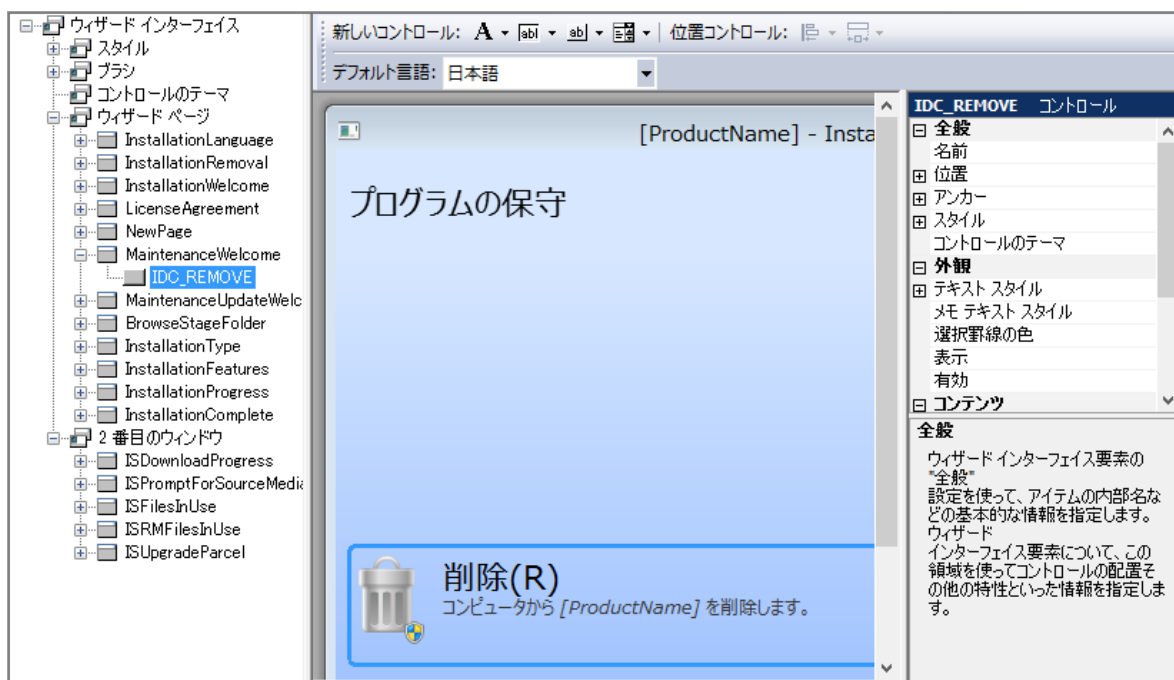
スイートインストーラーは、「変更」「修復」をサポートしていないため、メンテナンス画面が表示されたときに、「削除」のみが選択できるようにユーザーインターフェイスを編集します。

10. [ユーザー インターフェイス] - [ウィザード インターフェイス] ビューを表示します

11. [ウィザード インターフェイス] を展開し、[ウィザード ページ] - [MaintenanceWelcome] を選択します

12. 中央の編集画面で、「変更」のコントロール (IDC_MODIFY) をクリックし、delete キーで削除します

13. 同様に、「修復」のコントロール (IDC_REPAIR) をクリックし、delete キーで削除します



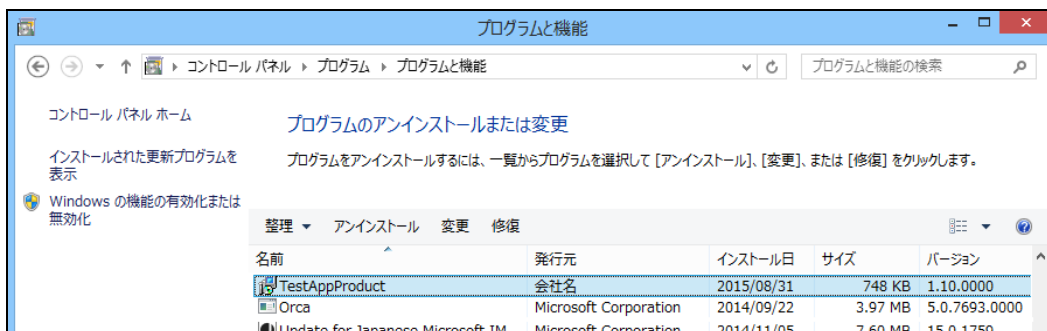
E. ビルドと実行

メディアをビルドして、スイートインストーラーを実行します

14. [メディア] - [リリース] ビューで、リリースアイコンを右クリックして新規リリースを作成し、ビルドを実行します

15. 生成されたリリースでインストールを実行します

MSI と MSP がインストールされて、Ver. 1.10.0000 となっていることが確認できます



更新プログラムとしてパッチもインストールされていることが確認できます



また、setup.exe をダブルクリックした際に表示されるメンテナンス画面では、「削除」のみが選択できるようになっています。



以上